

リレー・フォー・ライフ2011川越 (がん患者支援チャリティーイベント)に参加して

公益委員会 星野 弘

2011年9月17日(土)・18日(日)の両日、川越水上公園にてリレー・フォー・ライフ2011川越が開催されました。3回目を迎えたこのイベントに、埼玉県放射線技師会としてはじめて参加しました。35名という多くの会員の皆さまに参加ご協力をいただきました。

リレー・フォー・ライフ(命のリレー)は、サバイバー(がん患者さん)、ケアギバー(家族、遺族、支援者)とともに、24時間歩き語らうことで生きる勇気と希望を生み出し、がんという病気に立ち向かっていく、そのような思いを込めているチャリティーイベントです。

私たちの活動内容としては、医療画像展・乳がん検診説明会や福島原発スクリーニング報告をおこないました。また、チャリティー活動としてかき氷の販売やヨーヨーつりなどもおこない、32,343円を日本対がん協会に寄付しました。この寄付金は、若手医師の奨学金やがん検診受診率向上の手助けと同時に、今回は被災地がん患者さんの支援にも使われます。

初日は、風が強く途中で雨も降りましたが、雨上がりの空には虹がかかり私たちを応援してくれている様でした。ルミナリエ(がんで亡くなられた人に思いをはせ、紙袋にメッセージを寄せます)に書かれている言葉にも勇気づけられ、私たちは埼玉県放射線技師会の襷を夜も交代で24時間つなぎました。そして、感動のラストウォークを迎えました。

今回、少しでも役に立てばという思いで参加しましたが、サバイバーの方とふれあう時を共有することで逆に“よしあきらめない”“よしがんばろう”という勇気をもらいました。この思いを胸に、来年も参加したいと思います。来年度、会員の皆さまのご参加をお待ちしております。

最後に、ご協力をいただいた皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(よし!がんばって歩くぞ!)



(“かき氷はいかがですか”チャリティー活動もがんばりました)



(夜もがんばって歩くぞ!)



(皆さま、お疲れ様でした)



(ルミネリエ：それぞれの思いをロウソクに灯し、亡くなられた方を追悼する)